

# 日本古代典籍史料の研究

2011年3月刊 好評発売中

鹿内 浩胤 著

定価 7,035円 (税5%込)

A5判・400頁 ISBN978-4-7842-1552-2

史書・法制史料・儀式書・部類記など歴史学の土台をなす日本古代史の基本史料を対象に、原撰本へ如何にして接近するか、伝来論的アプローチを中心に「文献学的研究」と「書誌学的研究」の二部構成で研究の方法論を提示する。著者が発見した新史料『小野宮年中行事裏書』(田中教忠旧蔵『寛平二年三月記』)全丁の影印・翻刻も収録。

## ◆◆内容目次◆◆

### 序 章 研究の視角と本書の構成

研究の視角／本書の構成

#### 前 編 文献学的研究

#### 第一章 『続日本後紀』現行本文の成立過程

大治写本について／三条西家本について／江戸前期の写本について

#### 第二章 『弘仁式』篇目考

弘仁勘解由式の存否Ⅰ／弘仁勘解由式の存否Ⅱ／『弘仁式』の改訂時期

#### 第三章 田中教忠旧蔵

##### 『寛平二年三月記』について

—新たに発見された『小野宮年中行事裏書』—  
本写本の書誌／本写本の性格／本写本の内容  
附『小野宮年中行事裏書』(田中教忠旧蔵『寛平二年三月記』)影印・翻刻

#### 後 編 書誌学的研究

#### 第一章 九条家本『延喜式』の書写年代

書写年代の推定方法／最初に書写された三卷／筆跡Eを有する十七卷／筆跡Dの見える一巻／独立性の強い四卷／鎌倉時代書写の二卷／書写過程の推測

### 補 論 九条家本『延喜式』小史

近世における九条家本『延喜式』／大正末年の「発見」とその後

#### 第二章 東山御文庫十一冊本『類聚三代格』について

東山十一冊本の書誌と伝来／写本系統の検討／東山十一冊本の作成事情

#### 第三章 伏見宮家本『東宮御元服部類記』について

伏見宮家十六巻本の構成とその成立／伏見宮家六巻本の構成とその成立／伏見宮家本の伝来Ⅰ—中世—／伏見宮家本の伝来Ⅱ—近世—／伏見宮家本の伝来Ⅲ—近現代—

### 終 章 本書の総括

前編の総括—史料史の諸相—／後編の総括—写本史から史料史へ—

#### あとがき／史料名索引

しかない・ひろたね…1962年青森市生。1985年東北大学文学部(史学科国史専攻)卒。1991年東北大学大学院文学研究科博士課程後期(国史学専攻)単位取得退学。1991年宮内庁書陵部陵墓課陵墓調査室研究員。現在、宮内庁書陵部編修課皇室制度調査室主任研究官。2009年博士(文学)(東北大学)。

思文閣出版

〒606-8203 京都市左京区田中関田町2-7 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

| 注文票  |                                                                                                          | 発行: 思文閣出版   |  | (京都 取引コード 3402) |                       |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--|-----------------|-----------------------|
| 冊数   | 冊                                                                                                        | 日本古代典籍史料の研究 |  | 本体6,700円(税別)    | ISBN978-4-7842-1552-2 |
| お名前  |                                                                                                          |             |  | tel             |                       |
|      |                                                                                                          |             |  | e-mail          |                       |
| ご住所  | 〒                                                                                                        |             |  |                 |                       |
| 送本方法 | <input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい)<br><input type="checkbox"/> 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい) |             |  |                 | 書店番線印                 |

## 東京国立博物館古典籍叢刊

## 九条家本 延喜式 (全5巻) 【5月刊行開始予定】

東京国立博物館所蔵の国宝「九条家本延喜式」を、紙背文書も含めて写真版で影印出版。F Mスクリーンによる高精細印刷で、朱書きがある箇所は二色刷にし、第五巻には九条家本延喜式の解説と紙背文書全点の翻刻を付す。紙背は横長で掲載し、できるだけ一文書を一頁で見られるように工夫したものである。

▶第一巻 A5判・450頁／定価 15,750円 ISBN978-4-7842-1535-5

## 禁裏・公家文庫研究 第一～三輯

田島公編

勅封で全容が不明であった東山御文庫本を中心に、近世の禁裏文庫所蔵の写本、公家の諸文庫所蔵本に関する論考・史料紹介などを収録。

▶第一輯 B5判・390頁／定価 10,290円 ISBN4-7842-1143-8  
第二輯 B5判・406頁／定価 10,290円 ISBN4-7842-1293-0  
第三輯 B5判・496頁／定価 12,390円 ISBN978-4-7842-1414-3

## 奈良朝人物列伝 『続日本紀』薨卒伝の検討

林陸朗著

『続日本紀』収録の全54名の薨卒伝(王臣・僧侶等の死没後に出る略伝的な記事)をとりあげ、現代語訳・訓読・原文・語句解説・考察で構成。特色ある54名の生き様から、権謀渦巻く奈良朝政治の裏側を見る。【掲載人物】道昭和尚／行基和尚／光明皇后／藤原仲麻呂／坂上大養／吉備真備／藤原百川／石上宅嗣／大伴家持／藤原乙牟漏 他

▶A5判・468頁／定価 7,350円 ISBN978-4-7842-1517-1

## 兵範記人名索引

兵範記輪読会編 (代表 杉橋隆夫)

1980(昭和55)年の輪読会発足より蓄積された研究成果を人名索引として集成。(増補)史料大成本を底本とし、男子の部と女子の部の2部構成よりなり、人名項目のもとに掲出年月日と原文表記を掲げ、原本の情報を盛り込んだ、古代・中世史研究者必携の一書。

【内容】男子部／女子部／あとがき  
▶A5判・484頁／定価 9,450円 ISBN978-4-7842-1358-0

## 平安京とその時代

藤谷壽・山中章編

平安京をテーマに歴史・考古・地理学それぞれの視点からアプローチ【内容】摂関盛期の天皇の葬送／外戚士師氏の地位／陽成天皇廃位の真相／王朝貴族と仏名会／祈年祭料の「白猪」と近江国／摂関期の身分集団と訴訟・復讐／平安京と地名研究の展望／摂関・院政期の京都における讃岐系軒瓦の動向／甍る古代京都の風景 ほか

▶A5判・488頁／定価 9,450円 ISBN978-4-7842-1497-6

## 日本古代即位儀礼史の研究

加茂正典著

思文閣史学叢書

本書は大嘗祭はもちろん、剣璽渡御儀礼・即位式といった広義の即位儀礼をとりあげることに、桓武・平城朝における即位儀礼の儀式的意味と歴史的意義を明らかにする。さらに資料篇として古代即位儀礼史料年表、新嘗祭・大嘗祭関係文献目録(昭和20年～平成10年)を収録し、巻末には索引を付す。

▶A5判・480頁／定価 9,030円 ISBN4-7842-0995-6

## 東大寺文書を読む

堀池春峰監修／綾村宏・永村眞・湯山賢一編集

お水取りで知られる奈良の東大寺が有する膨大な文書群(平成10年国宝指定)の中から50余点を選び、その豊かな世界を紹介する。写真は大型図版で掲載し、テーマ毎に編者による概説、各文書には第一線の研究者による解説と釈文を付す。

▶B5判変・192頁／定価 2,940円 ISBN4-7842-1074-1

## 中世史料学叢論

藤本孝一著

原史料の調査と保存に永年携わってきた著者の初の論集。史料や古典席から何を学び何を読み解くのか。個別史料の読解・紹介から史実と虚構の問題まで、平安京から中世にわたる緒論を収録。【内容】第一篇 政治の変革と社会／第二篇 平安京の変容と宇治／第三篇 王朝文化と貴族生活／第四篇 史料学の諸相／第五篇 古記録学と典籍の伝来

▶A5判・444頁／定価 9,450円 ISBN978-4-7842-1455-6

## 仁明朝史の研究 承和転換期とその周辺

角田文衛監修／(財)古代学協会編

(財)古代学協会にて行われた平安時代をテーマとした共同研究の最新成果。王朝文化の先駆けを成す重要な転換期である仁明天皇(在位833～858年)の時代の歴史的意義を、文献史学・考古学・美術史などから多角的に解き明かし、日本国内のみならず東アジア世界の動向とも関連づける。

▶A5判・350頁／定価 7,350円 ISBN978-4-7842-1547-8

## 禁裏本歌書の蔵書史的研究

酒井茂幸著

従来の和歌文学の書誌学的研究が個別の資料に基づき行われてきたのに対し、禁裏本の総体を蔵書群として捉え、同時代の公家日記や古歌書目録類を援用しつつ、その伝来の歴史を跡付ける。中世後期以降、歴代天皇がどのような歌書を求め、書写し、収蔵していったかを明かす。

▶A5判・344頁／定価 5,880円 ISBN978-4-7842-1483-9

## 安祥寺資財帳

京都大学史料叢書⑦

京都大学文学部日本史研究室編／中町美香子・鎌田元一編集・解説 安祥寺は平安時代に入唐僧・恵運が開山した真言系の密教寺院。本資財帳は、恵運が貞観9年(867)に自ら勘録したもので、建立の経緯、貞観9年段階での規模、資財などが記されており、巻首から巻尾まで備わった貴重な9世紀の資財帳史料の一つ。現存の諸本の祖にあたる京都大学蔵本(旧観智院蔵本)を影印で収録。釈文と解説を付す。

▶A5判・176頁／定価 5,775円 ISBN978-4-7842-1516-4

## 後鳥羽院政の展開と儀礼

谷昇著

本書は、後鳥羽天皇(上皇)が課せられた政治課題とそれに対する対応＝政策理念が、宮中の儀式・行事である公事と修法・寺社参詣参籠等宗教儀礼の中に具現しているとする視点から、それらが果たした政治的役割を個別具体的に検証することにより、多面的な視点に立った後鳥羽理解、政治史叙述を企図したものである。

▶A5判・328頁／定価 6,300円 ISBN978-4-7842-1536-2

## 摂関時代文化史研究

関口力著

思文閣史学叢書

藤原道長の時代を中心に、古記録・日記類をもとにして摂関時代全盛期に生きた人物、彼らをはぐくんできた社会について考察。政権を掌握した体制派、それに対する反体制派、そうした官人等とは一線を画した非体制派の人物群という基本的な人間類型を示すことにより、あくまで人間が主人公である歴史の在り方について追究する。

▶A5判・488頁／定価 9,450円 ISBN978-4-7842-1344-3

## ※日本古代宮廷社会の研究

瀧浪貞子著

思文閣史学叢書

先入観を極力排し、奈良・平安時代を連続して考察することにより、光明子立后論の盲点を衝き、学問的に忌避されがちな孝謙女帝の復権を果すなど創見に富む著者初の論文集。

【内容】Ⅰ 皇位と皇統／Ⅱ 場の政治学／Ⅲ 宮都の構造／Ⅳ 律令課役論 断章

▶A5判・640頁／定価 12,390円 ISBN4-7842-0677-9

## 今昔物語集の人々 平安京篇

中村修也著

虚実ないまぜ話柄の豊富な説話文学の古典から、平安京という都市で生きる人々―商人・検非違使・怪盗・陰陽師・絵師たち―のさまざまな姿を写す。【内容】都人の楽しみは神社詣で／不思議な力の商人たち／盗賊団の跋扈する都／平安京の冥界と霊力／都に生まれた芸術家／昔も変わらぬ食生活

▶A5判・220頁／定価 2,415円 ISBN4-7842-1213-2

## 歴史のなかの天皇陵

高木博志・山田邦和編

【好評2刷】

近年、学界の要請をうけて限定公開され、社会的にも大きな関心を集めている陵墓。各時代に陵墓がどうあり、社会のなかでどのように変遷してきたのか、考古・古代・中世・近世・近代における陵墓の歴史をやさしく説く。京都アスニーで行われた公開講演に加え、研究者・ジャーナリストによるコラムや、執筆者による座談会を収録。

▶A5判・340頁／定価 2,625円 ISBN978-4-7842-1514-0

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。